

地震による火災を起こさない為に

避難所に行く前のチェック！！



家から別の場所へ移動する前には、次のことをチェックしよう。

- 玄関や窓のカギを閉める。
- ガスの元栓を閉める。家の中に火災が起きていないか確認！
- ブレーカーを落とす。
※地震による停電から復旧した際、スイッチが切れていない、もしくはコンセントが入ったままの電気製品が火元となり火災が発生します。

地域の絆こそ命を守る防災力

天神小学校避難所運営委員会では六会地区防災リーダー連絡会と協力し、ファーストミッションボックス（FMB）を取り入れた開設訓練を68名の参加者とともに2月16日（日）に行いました。

※ファーストミッションボックス（FMB）とは、必要な初期対応が明確になり、役割分担がスムーズになる指示書を収めたボックスのこと。

天神小学校にて訓練の様子

- ・簡易トイレ組み立て訓練（左・中）
- ・発電機動作訓練（右の2枚）



回覧

六会地区 防災リーダーニュース

NO.113 2025年3月25日発行

発行 六会地区防災リーダー連絡会
事務局 六会市民センター地域づくり担当
TEL 81-6677 FAX83-2298
編集担当自治会
ダイアパレス湘南台Ⅱ、Jタウン湘南ヒルズ、近藤山、西俣野下

2025年2月1日（土）六会地区防災リーダー連絡会研修会

六会地区防災リーダーメンバー計13名が、東京消防庁立川防災館（東京都立川市泉町1156-1）を視察しました。

立川防災館は、今回が初めての訪問でありました。同館施設は、1階が防災ミニシアター、地震体験室、2階がVR防災体験コーナー、救出救助コーナーとなっており、様々な学習プログラムを体験することができましたので、ご紹介させていただきます。



(1) VR 防災体験コーナー（VR Disaster Section）を体験

VR（バーチャルリアリティ）を活用した、地震・火災の臨場感あふれる疑似体験をしました。ゴーグルを装着すると、映像と合わせて強弱の振動が椅子から伝わり、どこからともなく煙の臭いも感じられ、実際の災害現場にいました。

体験が終了して立ち上がろうとした際に、まだ体験が継続しているかのように足元がふらつくなど、メンバー全員が貴重な体験をしました。



(2) 救出救助コーナーを体験

リアルな造形により震災現場を再現した空間で、**要救助者の検索から救出までの行動**を体験しました。



(3) 地震体験室を体験

本物そっくりの地震を体験し、地震の恐ろしさや普段の心構え、いざという時の行動力を身に付けることができました。関東大震災、東日本大震災などの震度7を体験し、その直後の**行動(①ガス閉栓②ドア解放③ブレイカー遮断)**も実施しました。



(4) 防災ミニシアターを視聴

実際に関東大震災を経験した女性の手記をもとに製作された映画を観て、**災害に備えて、私たちには何ができるか**を考えました。

ひといき

去年は、コロナの5類移行により東京臨海広域防災公園(そなエリア東京)と昼食を挟んでキリンビール横浜工場見学など、本来の研修会に戻りました。

今年も、本研修会は「**東京消防庁立川防災館**」視察と「**国立極地研究所南極・北極科学館**」見学をさせていただきました。

「南極・北極科学館」では、実際の南極の氷に触れることができました。

土曜日に団体での予約を取るのがかなり難しらしく、研修部会の方には感謝しています。とても有意義な1日を過ごすことができました。

東京都消防庁立川防災館

所在地 東京都立川市泉町 1156 番地の 1

電車：多摩モノレール：「高松駅」より徒歩 15 分

バス：JR 立川駅北口（1 番乗り場）より「立川消防署」下車すぐ

国立極地研究所南極・北極科学館

所在地 東京都立川市緑町 10-3

電車：多摩モノレール：「立川北駅」より徒歩 10 分

バス：JR 立川駅北口（2 番乗り場）より

「立川学術プラザ」下車、徒歩 1 分

